



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2017.10.25 (No.2934)
週報 No.16

クラブと地区の変革をめざそう

第2560地区ガバナー／新保清久
会長／小出子恵出
会長エレクト／松永一義 (クラブ奉仕A)
会長ノミニ／若槻八十彦 (クラブ奉仕B)
副会長／五十嵐晋三
幹事／吉井直樹
S A A／歸山肇
会計／関川博

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

- 本日の出席会員数:60名中33名
- 先々週出席率:84.48%

【ヴィジター】

- ・ 三條東RC 栗山正男さん
- ・ 三條RAC 山川数磨さん、川越健矢さん

【先週のメイクアップ】

[10.19] 燕RCへ

- ・ 加藤紋次郎さん、小林卓哉さん、
- ・ 渡辺勝利さん、小林敏信さん



2017～2018年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

小出子恵出 会長



街路樹のイチョウが黄色く色づいて秋らしくなってきました。

ロータリークラブの最初の社会奉仕活動が公衆便所を設置することだったそうです。あまりにも有名な話であると紹介されていましたが、みなさんご承知でありましたでしょうか。

1907年、シカゴ・ロータリークラブ会長に就任したポール・ハリスは、商工会の集まりで、シカゴ中心地のループ地区に、公衆便所がないために通行人が不便な思いをしていること知りました。これは奉仕活動を実践する絶好の機会だと捉えました。

今、三條市内でも公衆便所を探すのは容易ではありません。当クラブが植樹をした新しい公園や体育館などの公共施設の建物か、義理買いをしてコンビニに頼る方法くらいしか思いつきません。

当時のループ地区でトイレを借りる必要に迫られた通行人は、デパートかバー位しかなく、女性は化粧品を買うことを口実にデパートに入り、男性は、バーでビールを飲まなければ用が足せませんでした。

ポール・ハリスは、25の市民団体の代表を集め、公衆便所建設委員会を設立して、シカゴ市に働きかけます。バーに関係するシカゴ醸造組合とデパート協会からの激しい妨害を受けます。もし、無料のトイレができれば、これらの店の収入に影響を与えることは、誰の目にも明らかでした。交渉は長引き、工事着手までに2年の歳月が掛かってしまいましたが、最終的には、建設用地と20,000ドルの補助金を市当局から受け取ることになりました。1909年に市役所と公立図書館の横に二つの公衆便所が出来あがったのです。

ロータリーでは政治の話は御法度ということですが、役所に働きかける活動はできます。ロータリーが最初に行った社会奉仕活動は、単に金銭を抛出した奉仕活動ではなく、ほかの団体や行政を動かしたことに注目しなければなりません。

幹事報告

吉井直樹 幹事

◎新保ガバナー事務所より

「第17回ライラ研修 参加の御礼」

◎三条ローターアクトクラブより

「11月第二例会のご案内」

日 時 11月16日(木) 19:30～

会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室

※ローターアクトクラブの例会参加はメイクアップ扱いになります。ふるってご参加ください。

◎新保ガバナー事務所より

「米山記念奨学生学友会総会のご案内」

日 時 11月25日(土) 受付 15:30～

会 場 ホテルオークラ新潟

4階・コンチネンタル

◎次週11月1日(水)は、地区大会の出席振替です。通常例会はお休みです。お間違えのないようお願い致します。

ニコニコBOX

小出子恵出会長

街路樹のいちょうが黄色くなり始めました。忙しい日々が続きましたが虚しい日が続きそうです。

山田富義さん

三条RAC山川さん、卓話ありがとうございます。所用のため早退します。

斎藤弘文さん

パラオに行って大自然を楽しんで来ました。石橋会員、牧会員より大変御馳走になりました。

石橋育於さん

パラオより無事帰ってまいりました。斎藤さん、牧さん、梶さんには大変お世話になりました。

都合により早退させていただきます。

中條克俊さん

三条東ロータリークラブ 栗山様、お越しいただきありがとうございます。

衛藤委員長、山川さん、川越さん、ライラ報告宜しくお願ひします。

吉井直樹さん

台風一過の晴れとはなりませんでしたが、行きすぎてくれました。

早い冬になりそうです。早めの準備をしたいと思います。

本日の卓話、宜しくお願ひします。

牧 利幸さん

台風も大きな影響がなくて良かったです。

樺山 仁さん

ライラ研修の報告、衛藤会員御苦勞様です。

選挙も終わり、政治と経済の進展が望まれます。

アクトの山川さん、川越さん、ありがとうございます。

熊倉昌平さん

衛藤泰男さん、青少年奉仕委員長ご苦勞様です。

本日は卓話担当ありがとうございます。

衛藤泰男さん

本日はライラ研修報告を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。

渡辺勝利さん

早退ですみません。

川瀬康裕さん、伊藤寛一さん、関川 博さん、

米山智哉さん、若槻八十彦さん、丸山行彦さん、

歸山 肇さん、五十嵐昭一さん、松永一義さん、

柳取崇之さん、船越良則さん、明田川賢一さん

衛藤委員長、三条RAC山川さん、川越さん、本日はライラ研修報告ご苦勞様です。

10月25日分 ￥ 25,000

今年度累計 ￥ 441,000

「ライラ研修報告」



三条ローターアクトクラブ 川越健矢さん

第17回ライラ研修会のご報告をさせていただきます。

今回のライラ研修会は、新発田城南ロータリー主催のもと10月14日、15日の2日間、ロイヤル胎内パークホテルを会場にて行

われました。また研修会のテーマとして「より、気持ちの良いまちづくりを求めて!」と題し、陽塾（古典を読む会）講師として活躍されている安藤頌太郎様をお招きし2日間の研修を行いました。

研修は講師の先生が一方向的に話をする講演会のスタイルではなく、研修生一人一人が講師と意見交換をするといった対話型の研修を2日間で計7時間行いました。

研修の初めに安藤様から研修についてのオリエンテーションとして、2日間の研修に対して、覚悟を持って臨み、活発的な意見交換となるよう積極的に意見して欲しいとの事を話されました。

いざ、研修が始まると先生より「住んでいる町に不満のある人は手をあげて」と研修生へ投げかけられましたが、100人超えの会場の中ですぐに意見を言える研修生が居るはずもなく、先生から指名された人が先生と意見交換をし、最終的には会場にいた研修生全員と意見交換していました。

研修生から出された意見としては、公共マナーが悪い、娯楽施設がない、シャッター街、少子高齢化といった意見が出され、その一つ一つの意見に対して本人とどうしたら解決できるのか、その問題に対してあなたは何をしていくのかといった意見交換が行われました。

講師の安藤様の意見は辛口で、時には研修生が萎縮してしまう場面もありましたが、スパルタな指導は個人的には刺激的で良かったです。

ただ、ライラ研修会の醍醐味でもある一人一人の話す時間や研修生同士の交流といった時間が今回は少なく、その点に関しては残念でした。



三条ローターアクトクラブ 山川数磨さん

日頃より三条ローターアクトクラブにご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

私は、三条ローターアクトクラブの例会の中で会員達にスピー

チを強制的にさせています。即興でテーマを設け、それについて自分の思ったことを話してもらっています。

この場で私が原稿を作ってきたことが会員に知れると反感を買ってしまうので私も原稿は作らずこの壇上に立って心から出てきた感想を述べさせていただきます。

ライラ研修の概要については先ほど川越から報告させていただいた通りです。

今回のライラ研修の安藤講師の講義はグループディスカッションではなく、講師との一対一の対話形式で行われました。案の定、研修生からはちらほら批判の声が出ていました。なぜならこの形式は私を含め、自分の意見を言えない今の若者が一番苦手とする講義だからです。

だからこそ普段苦手と思って足を踏み入れない環境に強制的に置かれて受けた講義は精神的疲労も多かったです。しかし休日の二日間を費やしその上経費で研修に参加させていただいているのだから厳しい環境でなければ意味がないと思います。

社会に出て働くという事は常に理不尽の環境が当たり前だと思います。その理不尽な環境の中で、相手が何を伝えたいのか、それを受け自分がどう行動すべきかを考える力を養うのが今回のライラ研修だったのではないかと私は思います。

私が今回研修で感じたことを、今回参加できなかった三条ローターアクトの会員に伝え、来年度の研修会には多くの会員に参加してもらいたいと思います。そしてその際には更に厳しい先生に来てもらい指導していただきたいです。

今回の研修で学んだことを日々の生活に生かし、かつローターアクトクラブをさらに盛り上げていけたらと思います。今後とも三条ローターアクトクラブをよろしくお願い致します。

「第17回RYLA研修報告」

衛藤泰男 青少年奉仕委員長



ただ今三条ローターアクトクラブの川越、山川両委員より全体の様子が報告されましたので、私は研修内容についてご報告致します。

昨年迄の何件かの研修報告を週報で拝見しましたが、今回は研修手法が少々変わっていました。今回の講師であります安藤先生の意図する所と思いますが、まず例年行われていた研修生のグループ編成は最後迄ありませんでした。研修場所も移動は一度もなく、座席の配置も講師を中心に半円形とし、講師が動き易いように工夫されて居りました。

その研修室で男性48名、女性28名、計76名の研修生に14日午前中1時間、午後4時間、翌15日2時間、合計7時間びっしり研修が行われました。

研修テーマは、「より、気持ちの良いまちづくりを求めて!」です。

この研修に当たり、事前に三つの質問が出されていました。

- 1) 貴方の住んでいるまちで、これは問題だと思われる事、不安な事は?
- 2) もしも、その問題点を理想的に解決したら、それはどんな形のものですか?
- 3) その解決に参加するとして、貴方は何が出来ますか?

この事前アンケートに対して研修生一人ひとりに意見を求め聞きました。研修生全員が意見を言う訳ではありませんでしたが、講師自ら意見の出ない受講生に近づき発言を求めています。

研修生からは 設問1) に対し

- シャッター通りがどんどん拡大している
 - ゴミのポイ捨てが相変わらずひどい
 - レクリエーション施設が少ない
 - 若者が少ない
 - 交通問題がある
 - 犬の散歩などで後始末をせずマナーが悪い
- 等々さまざまな問題を取り上げていました。

講師からは意見に対し自らの基本的認識を示し解決が行われていました。

その中で特に問題として取り上げた事は

- 人口減少問題はこれを一つのチャンスとする発想はないのか
- 原発の問題

- 見た事もない1,100兆円の国の借金問題
 - 英語教育に随分力を入れているがそんなに必要なのか
 - 農家、農業の問題では農繁期は年2回なので暇は十分あるはずだ
 - 花の輸入は不要では
- 等々でした。

問題点はいろいろありますが、設問2) の理想的解決方法、設問3) 貴方が参加したとして貴方は何が出来ますかとなりますと、まるで自分の手に負えない事ばかりに気付きます。RYLA研修の目的は若いリーダー候補生にこの様な問題を提起し、その問題解決を考える機会を提供する事によって、リーダーとしての資質を鍛える事なのかも知れません。

夜の懇親会は地元でサークル活動されている方々の楽しいハワイアンフラダンスを観賞させていただき胎内産ワインとお酒をおいしく戴きました。

翌15日は、主題の「より、気持ちの良いまちづくりを求めて!」について120分前日と同じ質問に沿ったワークショップ方式研修が続きました。

ここでは研修生に自分の目線に沿った理想とする町の風景を描いてみて下さい。自分の理想とする風景をきちんと持っている事が大切です、と指導を進めていました。

総じて今年の研修は従来以上に講師が研修生へ一步踏み込んだ内容であり受講生の意見が講師の意図する事に合致しなければ即座に拒絶を受けたりして、傷ついて研修を終えた受講生も何人かいたのではと感じています。講師と受講生の状況認識に相違点があった受講生がこれをどう受け止めどう解釈して自身の研鑽に繋げるか、将来リーダーを目指す若人には大変良い研修であったと思います。

閉会式ではこの様な流れを反映するかのようになり次開催ホストクラブの担当者が次開催に安藤先生は来ませんので「ご安心下さい!!」とジョークを飛ばしていました。

最後になりますが、今年度RYLA研修の担当ホストクラブ新発田城南RCの皆様には大変温かいおもてなしを頂きました事をご報告申し上げます。

以上で私共のライラ研修報告とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



11月のお祝い

◎会員誕生祝

- 12日 柳取崇之さん
- 21日 西山徳芳さん
- 26日 熊倉昌平さん
- 29日 渋谷健一さん



◎夫人誕生祝

- 2日 小林のり子さん (敏信さん)
- 5日 川瀬弓子さん (康裕さん)
- 10日 外山セツさん (雅也さん)
- 14日 野崎ミチコさん (喜一郎さん)
- 17日 中村範子さん (和彦さん)

◎結婚記念祝

- 2日 外山雅也さん (セツさん)
- 3日 川瀬康裕さん (弓子さん)
- 3日 吉井直樹さん (道代さん)
- 6日 衛藤泰男さん (蓉子さん)
- 10日 梶 英和さん (由美子さん)
- 11日 金子俊郎さん (裕子さん)
- 17日 矢吹信太郎さん (英子さん)
- 22日 柳取崇之さん (恵さん)

◎100%出席賞

- 20年 佐野勝榮さん

次週例会 11月15日 卓話「30年前、ガバナー選出の頃」
熊倉昌平 会員

次々週例会 11月22日 「会員卓話」 落合孝夫 会員

